

令和6年能登半島地震 日報

日付け	内容
1月1日	石川県能登地方に最大震度7(マグニチュード7.6)の地震が発生
	能登地方の正副支部長宛に安否確認メールを送信
	被災管区の災害対策支部長を通じて、被害状況の調査を開始 石川県第2部大句哲正宗務所長の自坊が倒壊しているとの報告あり
1月2日	当該宗務所副長の井前本隆師が窓口として対応
	被災地内のA寺院が支援物資の受け入れを開始
1月4日	A寺院が支援物資の受け入れを一旦停止(人手不足により配布が困難となったため)
	B寺院にて支援物資の受け入れ開始
1月5日	石川県第2部宗務所管内の教師全員の無事を確認
	災害対策会議委員に上記の旨、メールにて報告
1月6日	全国の宗務所長に石川県第2部宗務所管内教師の無事をメールにて報告
1月10日	災害対策本部会議(内局会議)開催
	御用始めにおいて、倒壊寺院に対する支援の意思を表明
1月11日	災害対策本部会議(内局会議)開催
	「大規模災害」の指定及び災害義援金の実施を決定
	全管区にFAXにて下記書類を一括送信 「令和6年能登半島地震」大規模災害指定並びに災害義援金勧募の件
1月12日	全国の災害対策支部に下記書面を通達
	①「令和6年能登半島地震」大規模災害指定について
	①罹災寺院状況報告書(実施要綱添付書類)
	②大規模災害指定に伴う建物災害見舞金給付申請
	③大規模災害時における建物災害見舞金給付申請の注意点について
	④「令和6年能登半島地震」における檀信徒被害報告書
	②「令和6年能登半島地震」大規模災害指定に伴う災害義援金勧募に関する協力をお願い 「災害義援金の勧募方法について」
①勧募期間は、和6年1月11日(木)から令和6年12月末日まで	
②勧募期間中、計3回の締切(第1回4月末、第2回8月末、第3回12月末)を設け、 その締切時点までの寄託額を基準に随時配分を検討	
③災害対策支部にて管内の浄財を取り纏めの上、災害対策本部に送金	
④芳名は、日蓮宗新聞に対策支部名と金額を掲載 但し、個別に送金された場合は、個人名のみ記載	
⑤義援金箱注文書を同封	
災害義援金勧募の旨をポータルサイトに掲載	
石川県第2部の被害状況をポータルサイトに掲載	
B寺院での支援物資の受け入れ停止(人手不足)の旨、ポータルサイトに掲載	
1月16日	【第1回 災害対策会議開催(オンライン)】 支援物資助成の告示内容確認。支援対象期間「令和6年1月1日から令和7年3月31日まで」確認
	新潟県西部の被害状況をポータルサイトに掲載

令和6年能登半島地震 日報

日付け	内容
1月22日	畑災害対策副本部長が暫定の宗務所事務所(1013妙法輪寺)へお見舞い。見舞金30万円をお渡しする。
1月23日	石川県第2部大森宗務担当事務長が来院し、被災報告及び宗門支援内容等を確認。
1月24日	石川県第1部の被害状況をポータルサイトに掲載
1月29日	財務部より宗費未納通知とともに減免申請関連書類(所長一括用・特別に作成)を送付
	富山県の被害状況をポータルサイトに掲載
1月31日	新潟県北部の被害状況をポータルサイトに掲載
2月1日	新潟県東部の被害状況をポータルサイトに掲載
2月2日	石川県第2部大句所長と連絡を取り、所長業務を段階的に受け入れていく旨を確認。
2月7日	【第2回 災害対策会議開催(オンライン)】
2月27-28日	現地視察を実施(中能登～奥能登地域16ヶ寺)
3月1日	「勧募活動へのお願い(追伸)」を全国宗務所に送付
3月末日	被災地以外の地域における被害報告がないことを確認
4月9日	田中災害対策本部副本部長による現地見舞い及び視察を4ヶ寺実施(珠洲市～鳳珠郡～輪島市)
4月10日	本山妙成寺にて石川県第2部管内教師への事務説明会を実施(約20名参加)
	檀信徒向けご本尊100体を妙法輪寺(宗務担当事務長自坊)宛に送付
4月15日	富山石川宗勢懇談会にて管内教師への事務説明会を実施(約50名参加) 於 ホテルニューオタニ高岡
5月15日	【第3回 災害対策会議開催】
	・被災地の現状説明のため、以下のオブザーバーを招聘 石川県第二部大句所長・栗原啓允師(選挙区宗会議員)・石原顕正師(NPO法人アース理事長)
	・災害義援金の配分方法を検討(4月末日寄託額76,098,700円)
	・建物災害見舞金給付(4ヶ寺)検討